
コラボ広告 真剣で私に恋しなさい～最強の武～

兵隊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コラボ広告 真剣で私に恋しなさい〜最強の武〜

【Nコード】

N2171Q

【作者名】

兵隊

【あらすじ】

世界は滅亡し、武王に支配される。

その世界に招かれた、並行世界の戦士たち。彼らはその世界で一体どのような物語を紡いでいくのか。

（前書き）

クラブ広告です！

まだ定員も、やる時期も決まっておりませんが、必ずやるのでよかったら参加してくださいと幸いです！

これは並行世界。

本来なら起こり得ない“IF”の物語

。

それは前触れもなく突如として起きた。

世界の滅亡。

川神市から勢力を拡大していった一つの軍団。その名も武王軍。

それは本当に前触れもなかった。川神市に何かが襲いかかった。当然その事実には、各国の代表たちは何を馬鹿なことを嘲り嗤う。川神市とはかの有名な武の父川神鉄心と人類最強と名高い川神百代が住まう地だ。その場所を攻めるなど正気の沙汰とは思えない。

しかもたった二人で。たった二人で川神市に襲いかかった。その事実には、気が狂ったかもしくは自殺志願者かのどちらかだろうという認識しかなかった。だが、次の報告に嘲り嗤った者たちの顔色が変わる。

健康的な肌色から、青白い肌へと。不健康体でもあるかのような青白い肌から、死人のような土気色の肌へと。それは面白いほど、誰が見ても顔色が変化していると分かる。

報告を受けたのはたった一言。

“川神市が二人の集団に攻め滅ぼされた”とのことのみ。

ありえない。

各国の代表たちがまず最初に浮かんだ言葉はこの五文字だ。

ありえない。そんなことは断じてありえないのだ。川神市には川神鉄心と川神百代がいる。その川神市が滅ぼされたということは、この二人が敗北したということ。

そんな事実認められるモノだろうか。

認められるわけがない。一国を滅ぼせるであろう武力をもった二人が敗北した。そんな事実認められる事など出来ない。

だが、次の瞬間。

そんな各国の代表など露とも知らぬ。というかのように、謎の二名に滅ぼされた川神市がモニターに映し出される。

空は厚い雲に覆われ太陽の光すら降り注がない。

多馬川の川はすべて干上がり、豊かだった川の面影も残っておらず、多馬大橋は無残に途中で破壊されている。

多く建ち並んでいたビルも、見るも無残に破壊されている。ビルが斜めに傾いているモノまである。

親不孝通り、工業地帯、イタリア商店街、川神学園。

軒並み、すべてが破壊の限りを尽くされていた。

そして、今の川神市の現状を見ている者たちがようやく理解した。川神鉄心と川神百代が敗北したという事実を。

そんな憔悴しきった、各国の代表たちに追い打ちをかけるかのように打ち出される映像。

川神院だ。最強を誇った川神院。今はそんな事であったのも過去と言えるぐらい、何もかもが壊れていた。

その川神院の屋根の上。

そこに一人　　いや、二人の人影が見える。

「アレは何だ？」

それを見ていた、一人の男性が声をあげた。
その疑問に答えられる人間はいない。むしろこちらが聞きたいぐらいだ。

一人は女性。長い艶やかな黒髪で、仁王立ちでその場に佇む。
一人は男性。その女性に跪くようにしている。そのさまはまるで
臣下の礼。絶対忠誠を誓うかのような様子だ。

表情はおろか、その女性と男性の顔は見れない。
男性は下を向いているから顔は見えないが、女性は違う。こちら
を向いておらず間逆を向いており、背中だけがこちらに見えている
格好なのだ。

痺れを切らした、一人の男性が怒鳴る。

「誰だアレは！？ 情報はどうした！」

「分かりません！ 正体不明です！」

怒鳴った男性は、悔しげに奥歯を噛み締め、映像に映っていた謎
の女性を睨みつける。

それに応えるかのように、仁王立ちをしていた女性は顔をこちら

に向けた。

顔が分かるように。モニターに完全に映るように。

怒鳴った男性の口元が無様に開く。

その表情は信じられないというかのようだ。先ほどまで見せていた、怒りなど見せていない。

その女性は綺麗だ。

その女性の体格は見事というかのようなプロポーションだ。だが決して、それに見とれていた訳ではない。

女性は犬歯剥き出しに獰猛に笑うと、両手を広げて宣言する。

「オレ様の名はタケル、ヤマトノタケル。“武王”である」

それから一呼吸置いて、ヤマトノタケルは告げる。

「これよりをもって、我々“武王軍”は世界各国に宣戦布告をここに宣言しよう」

そして、最初に見せていた獰猛な笑みを浮かべて、

「さあ、虫けら諸君。この世界最強のオレ様に挑め

」

ここで、モニターに映っていた映像は切れた。
それと同時に誰かが一言。

「アレは、川神百代だ……」

ぽつりとそう呟いた

。

（後書き）

おはこんばんちは！兵隊です！

数多くの作者さんたちが行っているコラボに触発されて自分もやってみたいと思いコラボを企画しましたw

定員もやる時期も決まっておりますませんが、必ずやるのでよろしくお願ひします！

やる時期や定員がかなり次第、活動報告に乗せようと思いますのでよろしくお願ひします！

お気軽に参加してくださいと幸いです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2171q/>

コラボ広告 真剣で私に恋しなさい～最強の武～

2011年1月19日01時17分発行